

第 15 回議会報告会議事録（要約）

と き	平成 29 年 11 月 10 日（金） 19 時～ 21 時
と ころ	南山活性化支援施設ミナクル 大会議室
テ ー マ	第 1 部：5 月臨時会、6・9 月定例会の報告について 第 2 部：車座で議員と語ろう（フリートーク）
参加者数	5 名
担当議員 16 名	大畑 一千代 ・ 藤浦 巧 ・ 高瀬 俊介 ・ 長谷川幹雄 石井 雅彦 ・ 岸本眞知子 ・ 小川 忠市 ・ 小紫 泰良 磯貝 邦夫 ・ 藤尾 潔 ・ 安田 朗 ・ 長谷川 勝己 桑村 繁則 ・ 山本 通廣 ・ 二階 一夫 ・ 井上 茂和
書 記	1 部：藤浦・石井・岸本・安田／2 部：大畑・小川／総括：藤浦
特記事項	



【概 況】

1 部では出席者が 5 名と少数であったにも拘わらず地域課題等多くの質問があり、それぞれ各議員が答えた。

また、2 部では、2 班に分かれフリートークを行った。

人数は少数であったが、活発な意見交換が行われた。

Q：質問、要望等 A：回答

【 第 1 部 】	
Q 1	視察の内容で加東市に取り入れたいものはあるのか。
A	富士宮市についてはあるが、委員会としては決定していないが、中小企業の活性化の基本条例にかかる実施計画が制定されている。加東市でも実施計画を作成したい。加東市は基本条例作成済みです。 宍粟市については、公共交通で様々な取り組みをされているが、加東市においても視察内容を研究し取り組みたい。 佐用町については、加東市では小中一貫校の関係で校舎が空いてくるの

	で、その活用を図るため視察した。
Q 2	和光市について視察の内容を説明してほしい。また、ケアプランの差異を説明いただきたい。
A	加東市のホームページに掲載しています。また、和光市のケアプランの特徴についても説明している。 加東市が遅れているとは感じなかった。支援事業についても先進的であると感じた。
Q 3	和光市も加東市もケアマネージャーが地域とどのように連絡を取っているのか。また、学校を取り込んだケアプランはあるのか。
A	加東市ではない。
Q 4	私は、12年ほど前に引っ越ししてきた時には暮らしやすいと思いましたが、東条庁舎が本庁と一本となったため、行政サービスを受けるため社までいかなければならない。また、南山の最大の問題は公共交通問題です。是非、社と南山間に交通インフラを増やしてほしい。
A	加東市では公共交通網形成計画を作成しており、順次対応する予定である。
Q 5	加東市も色々考えておられるようだが、私としては小野、三木市のような市内循環バスのようにしてほしい。
A	加東市においては市運営の有償運送の導入が考えられている。また、乗合タクシーの導入も検討されている。

第1グループ	【 第2部 】
Q 1	南山の公共交通の整備を早くしてほしい。これにより多くの課題が解決すると思う。
A	きよみず、米田ふれあい線の自主運行バスの内容を説明した。
Q 2	高速バスのバスストップをひょうご東条インターに新設してもらい、天神バスストップと交互に止まってほしい。
A	この件については東条町の時にも意見があり、話したことはあり、その時の説明では、どちらか一か所しかできないとの説明であったが、再度当局に希望されている旨を伝える。
Q 3	北播磨医療センターに加東市は参加すべきではなかったか。
A	北播磨医療センターは急性期に対応する病院であり、加東市民病院は急性期また回復期あるいは介護と連携した病院であり、北播磨医療センターとの役割分担がされおり必要な病院である。
Q 4	現在、私は吉川のデイサービスを利用しているが、近くに行けるところがない。近くにデイサービスの施設を設けてほしい。
A	東条地域には現在4か所あるので問い合わせさせていただくよう説明した。
Q 5	山崎断層による地震対策の観点から、市の拠点を社地域と東条地域に分散させるのが必要ではないか。
A	市庁舎は耐震対策がなされて免震構造となっていますので、そこまでの必要はないと考えます。

第2グループ	
Q 1	とどろき荘の次期指定管理者は決まったのか？社協だより（70号）
	にとどろき荘職員募集の記事がある。
	議会だよりには新しい指定管理者は12月議会で議決とあるが、もう社会福祉協議会ありきで進んでおり、議会が無視されているのではないか。
A	9月から公募しており、11月初めに面接があったが、社会福祉協議会しか面接を受けなかったようだ。
Q 2	社協は事前の準備をしているのではないか。
A	ご指摘は真摯に承る。
Q 3	横谷地区の久保クリーン跡地を「アイザック」が購入し廃油の中間処理施設を整備することであったが、この度、焼却施設のプラントを整備するようである。地元説明会が17日に行われるようだ。
	南山地区の隣接地区にそのような施設が整備されたら大気汚染等が心配である。議会としてもそのような施設等にはしっかりと目を光らせて欲しい。地元説明会後に出来れば議会へも情報を提供していきたい。
A	そのような施設が整備される場合は県や市の適切な行政手続きがされ、また、最低条件として地元の同意があつての認可となるのでそう簡単には整備されない。
	議会は市民との意見交換の場を設けるシステムがあり、そのような機会を活用していただき情報の共有をしていきたい。
Q 4	この頃の災害は「想定外」との報道がある。災害発生時は公共施設や学校施設が避難所になる。
	東条地域小中一貫校の建設場所は東条川に面しており、想定外の災害時

	<p>は避難所として大丈夫なのか。</p> <p>皆が安心して住めるまちになるよう、広い視野、長期的な視点でまちづくりをお願いしたい。</p> <p>A 兵庫県ハザードマップのデータを基本に設定しており、100年に1度の雨にも対応している。また、新校舎については、基礎レベルを1.5m高く設計する方針と報告を受けている。</p> <p>Q5 小中一貫教育については、時代の流れからして必要だ。しかし、ハード面で立派な校舎もいいが、ソフト面が重要であると思う。特に先生方の一貫教育に対する資質の向上が大事であり、教育委員会は、しっかりとした小中一貫教育のビジョンを持ち教育行政に当たるべきだと思うが、議員の意見はどうか。</p> <p>A 小規模小学校では野球等団体スポーツも出来ない。やはり、統合し大人数での教育は必要であると思う。しかし、大人数になっても、少人数教育の良いところ、ひとり1人きめ細やかな対応は行うべきではないかと思う。</p> <p>この加東市の小中一貫教育の方針で、中1ギャップの解消や将来の子どもたちのためとの説明を受けたが、方針のメリットやビジョンも無い説明だった。私はその辺で反対だった。</p>
<p>当局に照会・要望すること</p>	<p>第1グループQ2</p>
<p>議会で対応すること</p>	